

令和3年4月23日

令和3年度もはじまって3週間が経ちます。1年生をはじめ、少しずつ新しい年度に慣れてきて、自分らしさが顔を出してきています。それと共に、新しい年度を迎えて、はりきっていた分、そろそろ疲れも見られてきました(子どもたちだけでなく、我々も)。早くGWが来ないかなあ、と首をながーくして待っています。もう一息、がんばりましょう(\*^^)v



楽しい姿を見つけちゃいました。

登校をしてきた1年生の頭です。まだ登校をして何日もたっていない日の朝でした。ヘルメットにも慣れていないからでしょうか。ヘルメットの空気穴から髪の毛がピョコンと出ていたのです。思わず「写真撮らせて」と頼んで撮った1枚です。今はもう、このような頭での登校は見かけません。1年生が学校になじんできたように、髪の毛もヘルメットになじんできたのですね。

一年生、生まれて初めての給食。メニューは「さばのみそに」と、渋いおかずでしたが、とてもおいしそうにみんな食べていました。これから少なくとも九年間、給食との付き合いは続きます。(わたしなど、九年どころか三十年以上も続いています。私の体の大半は給食でできています。栄養バランスばっちりの給食に感謝です)。これからも、おいしくいただきますよね。



## 【1年の違い】

4月21日、6年生が主となって「1年生を迎える会」を開いてくれました。昨年度はできなかったのですが、コロナ感染対策も昨年よりは少しわかってきた面があるので、今年度は体育館で1年生と6年生で行う予定でした。しかし、ふと「(2年生は昨年、この花のアーチをくぐっていないんだよなあ) 2年生にも花のアーチくぐって欲しいなあ」と思い、急遽そのように企画してもらいました(6年生ありがとう)。そして、1年生には「このような会を開いてもらってどうですか?」と訊くと「きんちょうした」「うれしかった」とのこたえがかえってきました。2年生にも「花のアーチをくぐってみてどうでしたか?」と訊くと、「楽しかった」「うれしかった」

**「すごくはずかしかった」**とのこたえがかえってきました。

何かこの**「すごくはずかしかった」**に、2年生の成長の姿が垣間見られた気がしました。このようなことをしてもらっての嬉しさの中にも「この会の主役は1年生。もう、ぼくたち2年だからお祝いされるのは少し恥ずかしいな」こんな微妙な気持ちが出ているように思えます。2年生の成長を、こんなところにも感じます(#.~#)

